２０２６年度

島根大学大学院人間社会科学研究科修士課程

社会創成専攻　人文社会コース

（第２次）入試問題

【 地理学 】

（一般入試Ａ）

注　意

１　問題紙 ２ページ，解答用紙 ３枚，下書き用紙 ３枚である。

２　指示があってから確認し，解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。

３　解答は，解答用紙に清書すること。

４　問題紙，下書き用紙は，持ち帰ること。

社会創成専攻　人文社会コース　　　地理学　問題
（一般入試A）

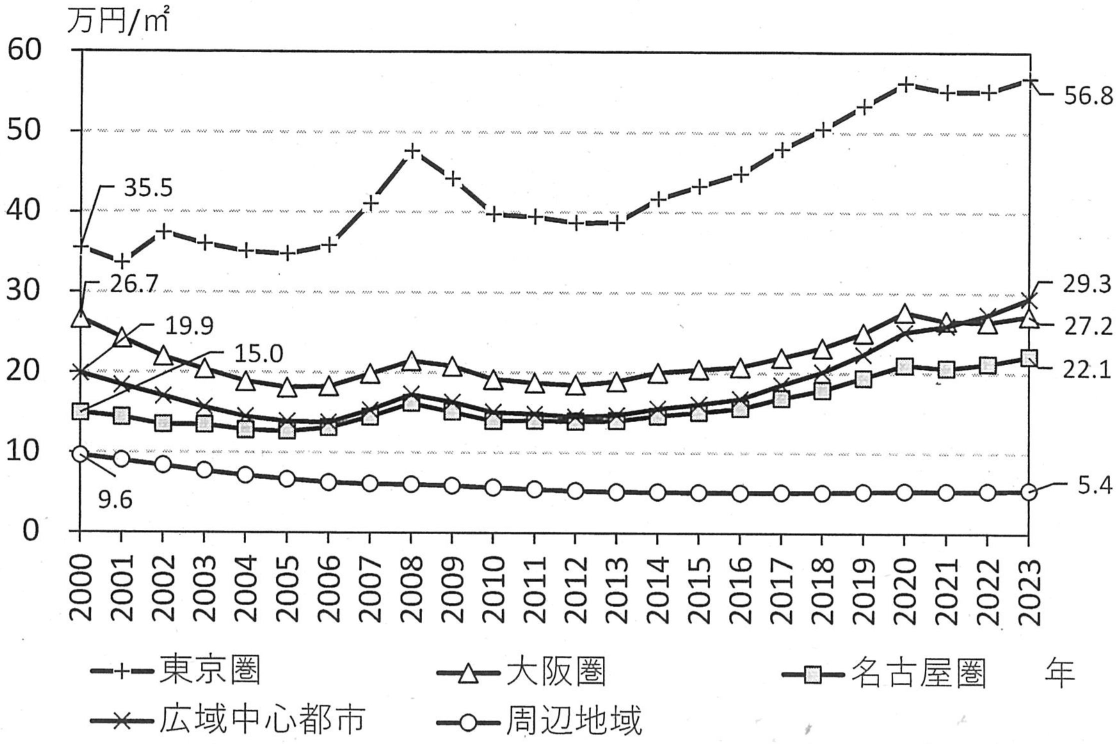
問１　次の用語のうち、３つを選択し、各々説明しなさい。解答に際しては、設問番号および用語を記すこと。

(1) 地理的表示（GI）
(2) エクソニム
(3) 伝産法（伝統的工芸品産業の振興に関する法律）
(4) スマートシティ
(5) ジェンダー地理学
(6) グローバル・サウス

問２　近年の日本ではインバウンド観光客の増加により、これまで観光地としての知名度が高くなかった地域にも多くの観光客が訪れるようになった。観光客の増加は、地域活性化の起爆剤となる一方で、観光公害と呼ばれる様々な地域問題も引き起こす。観光公害の問題を踏まえつつ、観光による地域活性化について論じなさい。

問３　次ページの図１は、2000年から2023年にかけての地域別の地価の推移を示したものである。東京圏とそれ以外の地域との地価の差が広がってきた背景について、２つ以上の要因を挙げて論じなさい。

社会創成専攻　人文社会コース　　　地理学　問題
（一般入試A）



東京圏：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
大阪圏：京都府、大阪府、兵庫県、奈良県
名古屋圏：愛知県
広域中心都市：札幌市、仙台市、広島市、福岡市
周辺地域：上記以外の地域

図１　圏域別の地価の推移（全用途平均価格）

出典：地価公示より作成.